

**日本機械学会バイオエンジニアリング部門
第100期第3回 運営委員会 議事録**

日時：2022年12月23日（金）9：00～11：00

場所：遠隔会議 Zoom

出席者：工藤 奨（部門長, BE34 講演会組織委員長），中西 義孝（副部門長），出口 真次（部門幹事），長山 和亮（総務委員長），前田 英次郎（総務幹事），岩崎 清隆（企画委員長），田原 大輔（企画幹事），中村 匡徳（広報委員長），牧 功一郎（広報幹事），山西 陽子（国際委員長），下権谷 祐児（国際幹事），大谷 智仁（次世代委員長），石川 拓司（国際ジャーナル委員長, BE35 講演会組織委員長），須藤 亮（国際ジャーナル幹事），坂元 尚哉（年次大会 2023 担当），菊地 謙次（BE35 講演会幹事），加瀬 篤志（年次大会 2022 担当），世良 俊博（BE34 講演会幹事），大木 順司（BF34 講演会委員長），坪田 健一（分野連携委員長），大塚 雄市，坂井 伸朗，宮田 昌悟，山子 剛，山本 衛，塚本 雄貴，伊藤 安海

欠席者：倉元 昭季（次世代幹事），今井 陽介（BF33 講演会委員長），大友 涼子，小川 淳夫，東藤 正浩，宮崎 祐介

アドバイザーボード出席者：片岡則之，西田正浩，安達泰治，玉川雅章

[資料]

- 100-3-00 第100期第3回運営委員会議案
- 100-3-01 第100期第2回運営委員会 議事録
- 100-3-02 部門運営規程
- 100-3-03 記念賞の設定
- 100-3-04 次期副部門長選挙結果報告
- 100-3-05 次期部門代議員（関東，北陸信越，中国四国）の推薦
- 100-3-06 部門賞の募集
- 100-3-07 分野連携企画への応募
- 100-3-08 2022年度事業報告書
- 100-3-09 ISO・JIS・学会基準委員会
- 100-3-10 第33回バイオフロンティア講演会
- 100-3-11 第87回・88回日本循環器学会学術集会
- 100-3-12 機械学会2023年度年次大会
- 100-3-13 次世代診断治療支援のための血流シミュレーション
- 100-3-14 筋骨格モデルによるバイオメカニクス解析入門
- 100-3-15 ICAM 2024
- 100-3-16 2023年度部門予算案・事業計画案
- 100-3-17 第1回部門協議会 議事録の修正版
- 100-3-18 2022年度「機械工学振興事業資金」助成の募集
- 100-3-19 日本JSME・韓国KSME ジョイントシンポジウム
- 100-3-20S JSB2023
- 100-3-21S 第35回バイオエンジニアリング講演会
- 100-3-22S バイオフロンティアシンポジウム
- 100-3-23S 日本循環器学会との企画について
- 100-3-24S 重点活動報告・ポリシーステートメント
- 100-3-25S 第3回部門協議会
- 100-3-26S LIFE2023
- 100-3-27S 日本臨床バイオメカニクス学会とのジョイントシンポジウム
（最後にSと付けられた資料は順不同となりますのでご注意ください）

[審議・承認事項]

1. 部門運営・構成関係

(1) 第100期第2回運営委員会 議事録 [出口 部門幹事] [資料100-3-01]

既にメール審議にて承認を得ている議事録について確認がされた。

(2) 部門運営規程 [工藤 部門長] [資料 100-3-02]

第1回運営委員会において、各委員会の業務について見直していくことが提案されていた。第2回、具体案を部門運営規定の変更という形で提案がなされた。

資料

100-3-02-1_部門運営規程_221121 溶け込み

100-3-02-2_部門運営規程_221121

変更部分の説明および下記の補足説明がなされた。

新規発足の企画、渉外委員会は次年度以降の企画について予算込み（100万円以内）で検討する。日循、KSMEの企画も企画、渉外委員会で検討する。

2023年度KSMEは既に予算化されている企画、渉外費50万から10万円ほど支出する。幹事、編集委員長、次世代戦略委員長以外の現委員長は任期途中を含め今年度で終了。

(3) 記念賞の設定 [工藤 部門長] [資料 100-3-03]

第1回および第2回運営委員会において林紘三郎先生のバイオエンジニアリング分野への貢献(学術、教育、出版、国際交流等)を鑑み、記念賞を創ることが提案されていた。第1回運営委員会での予告に従い、第2回では具体的に部門の功績賞を林賞へと名称変更することが提案され、次回(すなわち今回の第3回)において承認された際には理事会と部門協議会で経緯等を説明し、それぞれ承認を得るというプロセスが説明されていた。

資料

100-3-03-1_部門賞規定.pdf

100-3-03_2_部門賞改定の件(たたき台).docx

100-3-03_3_ニュースレターNo1.pdf

同案に対してこれまで意見収集に務め、運営委員会委員やアドバイザーボードから反対意見、慎重意見が出されていたが、多数ではなかったために、本委員会で功績賞を林賞に名称変更する案が承認された。このあと理事会と部門協議会に諮ることとなった。そこでの説明資料において、とりわけ国際的な功績について含めることが確認された。

(4) 次期副部門長選挙結果 [長山 総務委員長・前田 総務幹事][資料 100-3-04]

来年度BE部門副部門長の選挙の結果、東北大学の石川拓司先生が当選された。選挙結果の概要について説明された。

(5) 次期部門代議員(関東, 中国四国, 北陸信越)の推薦 [出口 部門幹事][資料 100-3-05]

回答締め切り12月22日(木)

提出したリストについて説明された。ただし、今回の第3回運営委員会の後に一名の変更(関東支部)が必要とわかり修正したもの(資料100-3-05は差し替えた)を本部に提出した。

(6) 部門賞の募集 [長山 総務委員長] [資料 100-3-06]

既に締め切りされた部門賞の申請数などが説明された。

(7) 分野連携企画への応募 [坪田 部門連携委員長・出口 部門幹事] [資料 100-3-07]

資料100-3-07-1: 分野連携委員会HP(出口)

資料100-3-07-2: 2022年度 分野連携企画の募集について(出口)

資料100-3-07-3: マイクロ・ナノ工学部門との連携について(出口)

資料 100-3-07-4：メモ_分野連携企画_先端技術フォーラム_2023 年度申込み（坪田）
資料 100-3-07-5：先端技術フォーラム BE-MNM（坪田）
資料 100-3-07-6：分野連携企画書_1_マイクロ・ナノ工学-BE 部門（坪田）
資料 100-3-07-7：分野連携企画書_2_JSME_KSME_2023（坪田）
資料 100-3-07-8：分野連携企画書_3_SHD・BE・ロボメカ共催 OS（坪田）
資料 100-3-07-9：分野連携企画書_4_筋骨格講習会（坪田）
資料 100-3-07-10：分野連携企画書_5_循環器学会（坪田）
資料 100-3-07-11：分野連携企画書_6_LIFE2023 大会（坪田）

既に締め切りされた分野連携企画書の内容について説明がされた。

(8) 2022 年度事業報告書 [出口 部門幹事] [資料 100-3-08]

資料 100-3-08-1：本部からの作成依頼・提出期限：2023 年 1 月 16 日（月）
資料 100-3-08-2：2021 年度（第 99 期）事業報告書
資料 100-3-08-3：2022 年度（第 100 期）事業報告書（未作成）

締め切りについて準備中であることが説明された。

(9) ISO・JIS・学会基準委員会 [出口 部門幹事] [資料 100-3-09]

資料 100-3-09-1:ISOJIS 学会基準委員 産総研・葭仲先生からの報告
資料 100-3-09-2：2022 年度(第 100 期)第 2 回 ISO・JIS・学会基準委員会
資料 100-3-09-3：機械学会標準化委員会メモ（産総研・葭仲先生）
資料 100-3-09-4：ISO・JIS・学会基準委員会：経済産業省産業標準化表彰 候補者調査依頼
資料 100-3-09-5：調査シート

適任の候補者がいれば部門から推薦をする旨説明がされた。

(10) 日本循環器学会との企画について [工藤 部門長] [資料 100-3-23S]

年次大会については、旅費、交通費（学会規定）は本部担当。謝礼は支出できない。
部門講演会については、旅費、交通費（学会規定）は部門担当。
2023 年度の東北開催は既に予算化されている企画、渉外費 50 万から 10 万円ほど支出する。
2024 年以降は企画委員会、分野連携予算で支出していく。

日本循環器学会との企画について、今後の方針に関する上記内容について説明がされた。

(11) 懇親会の扱いについて [出口 部門幹事]

懇親会費の名目で金額を徴収されると、税務上、接待の扱いになる場合がある。意見交換会、情報交換会の方が適切ではないか。

他部門の状況を調べつつ、継続審議となった。

(12) その他

特になし。

2. 部門関連行事

(1) 第 33 回バイオフロンティア講演会 [今井 BF33 講演会組織委員長] [資料 100-3-10]

開催日：2022 年 12 月 17 日（土）、18 日（日）
会場：神戸大学六甲台第二キャンパス
実行委員長：今井 陽介（神戸大学）

幹事：石田 駿一（神戸大学）

ウェブサイト：

<https://www.jsme.or.jp/conference/biofrconf22/>

参加登録 2022年11月30日まで

若手による次世代戦略委員会企画・ランチョンセミナー

第33回バイオフィロンティア講演会 出藍会企画

<https://www.jsme.or.jp/conference/biofrconf22/doc/shutsuran.html>

【座談会】「どうすれば機械系の学科で、バイオの研究室が人気になるか？」

【パネリスト】三好洋美 先生（都立大） 杉田修啓 先生（名工大）

佐藤克也 先生（徳島大学） 門脇廉 先生（長野高専）

【開催日時】2022年12月17日（土） 12:45-13:45

【会場】神戸大学 六甲台第二キャンパス 工学研究科棟5階 戎ホール（LR501室）

【参加費】無料（ただし、バイオフィロンティア講演会の参加者に限る）

【定員】研究者・技術者および学生、100名程度

【弁当の申込締切】11月16日（水）17:00

【問合せ先】若手による次世代戦略委員会 委員長 大谷 智仁（大阪大学）

今井実行委員長が欠席されたために、次回報告していただくことになった。

(2) バイオフィロンティアシンポジウム [山西 国際委員長] [資料 100-3-22S]

12月18日（日）（第33回バイオフィロンティア講演会会期内）

9:00~10:00 Roger D. Kamm (Cecil and Ida Green Distinguished Professor of Mechanical and Biological Engineering Massachusetts Institute of Technology, MA, USA. Departments of Mechanical Engineering and Biological Engineering) “Microphysiological models of neurological disease: Their potential and limitations”

16:15~17:15 Amy Shen (Professor of Micro/bio/nanofluidics Unit Okinawa Institute of Science and Technology, Okinawa, Japan) “New opportunities to study population genetics and detect diseases by employing microfluidics and lab-on-a-chip devices”

定員：学部生，大学院生，若手研究者およびシンポジウム実施内容に興味があるすべての研究者，最大300名

備考：シンポジウムの内容に対する撮影や記録は禁止します。

会場：神戸大学 六甲台第二キャンパス 工学研究科棟5階 戎ホール（LR501室）

参加登録費：無料

開催状況について説明がされた。

(3) 第35回バイオエンジニアリング講演会 [石川 BE35 講演会組織委員長] [資料 100-3-21S]

開催日：2023年6月3日（土），4日（日）

会場：日立システムズホール仙台（<https://www.sendaiycc.jp/>）

実行委員長：石川 拓司（東北大）

幹事：菊地 謙次（東北大）

講演会ウェブサイト：<https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf23/>

OSの内容等について説明がされた。日本バイオレオロジー学会（6/3,4,開催、兵庫）と日程が重なっていることが指摘され、同じく例年同時期に開催される日本生体医工学会と併せて今後日程決定の際に考慮することが確認された。

(4) 第87回・88回日本循環器学会学術集会 [岩崎 企画委員長] [資料 100-3-11]

第87回会長：筒井裕之 九州大学大学院医学研究院 循環器内科学 教授

会期：2023年3月10日（金）-12日（日）

会場：福岡国際会議場，福岡サンパレス，マリンメッセ福岡，福岡国際センター

第87回開催内容について説明がされた。

(5) 機械学会 2023 年度年次大会 [坂元 年次大会 2023 担当] [資料 100-3-12]

資料 100-3-12-1 : OS テーマ募集書状_2023 年度年次大会

資料 100-3-12-2 : 特別行事企画募集要項_2023 年度年次大会

日時 : 2023 年 9 月 3 日 (日) ~6 日 (水) (3 日 (日) は市民開放行事)

場所 : 東京都立大学南大沢キャンパス

部門への依頼

1. OS 企画のテーマ募集 (締切 11/30)
2. 特別行事企画の募集 (締切 12/19)
 - ・基調講演
 - ・先端技術フォーラム
 - ・ワークショップ
 - ・市民フォーラム等

現在の学会準備状況について説明がされた。

(6) 第 34 回バイオフィロンティア講演会 [大木 BF34 講演会組織委員長]

日 程 : 2023 年 12 月 ~2024 年 1 月頃

開催地 : 中国四国地区

実行委員長 : 大木 順司 (山口大)

2023 年 12 月 16, 17 日に山口大学・常盤キャンパスで開催されることが説明された。

(7) LIFE2023 [中西 副部門長] [資料 100-3-26S]

日付 : 2023 年 9 月 19-21 日

会場 : 新潟工科大学

大会長 : 寺島正二郎

主担当学会 : 日本機械学会, 担当部門はバイオエンジニアリング部門
(部門連携事業として申請中)

本イベントの背景と開催内容について資料に沿って説明がされた。

(8) 次世代診断治療支援のための血流シミュレーション [中村 委員] [資料 100-3-13]

講習会 : 次世代診断治療支援のための血流シミュレーション ~基礎から実践まで~

企画 : バイオエンジニアリング部門

協賛 (予定) : 日本循環器学会, 日本脳神経血管内治療学会, 日本放射線技術学会

開催日 : 2023 年 3 月 4 日 (土) 9:30~17:20

会場 : 名古屋工業大学 21 号館 1 階 2111 室

本イベントについて, 申込者数が少ない場合は開催しないこともありえることが説明された。

**(9) 6th Japan-Switzerland Workshop on Biomechanics (JSB2023) [山西 国際委員長・出口 部門幹事]
[資料 100-3-20S]**

新日程 : 2023 年 8 月 29 日 (火) ~9 月 1 日 (金) , 4 日間

会 場 : グランドパーク小樽 (北海道小樽市築港 11-3)

ウェブサイト : <https://www.jsme.or.jp/conference/jsb2022/index.html>

Co-Chairs (実行委員長):

大橋 俊朗, 北海道大学, Email: ohashi@eng.hokudai.ac.jp

Philippe K. Zysset, University of Bern, Email: philippe.zysset@artorg.unibe.ch

貼付資料

100-3-20S-1_国際会議開催届_JSB2023
100-3-20S-2_実行委員会名簿_JSB2023
100-3-20S-3_収支予算書_JSB20223

会場が函館から小樽に変更されたことが説明された。

(10) AP Biomech Conference 2023 [石川 国際委員, APAB Treasurer・山西 国際委員長]

日 程 : November 16th (Thu) – 19th (Sun), 2023
開催地 : Kuala Lumpur Convention Center, Malaysia
Chair, Organizing Committee: Prof. Noor Azuan Abu Osman

Yamaguchi Medal の範囲を拡充しており、応募依頼がされた。

(11) 筋骨格モデルによるバイオメカニクス解析入門 [出口 部門幹事] [資料 100-3-14]

開催日 : 2022 年 12 月 2 日 (金) 9:30~17:30
開催形態 : オンライン開催 (Zoom ミーティングを利用)

開催された旨報告がされた。

(12) 日本臨床バイオメカニクス学会とのジョイントシンポジウム [坂元 委員] [資料 100-3-27S]

資料に沿って同イベントについて説明がされた。

(13) その他

特になし。

3. 共催・協賛・後援行事

(1) ICAM 2024 [出口 部門幹事] [資料 100-3-15]

会議名 : The 8th International Conference on Advanced Mechatronics (ICAM 2024)
開催予定日 : 2024 年 7 月((1)7-8, (2)15-16, (3)16-17)
場所 : 北九州国際会議場
九州工業大学・玉川先生委員長。ロボメカ部門の部門長から各連携予定の部門長に要請予定。

アドバイザーボードの玉川先生より、現状ではロボメカ部門において検討中である旨が説明された。

(2) 最適化シンポジウム [東藤 委員・出口 部門幹事]

2024 年度 11 月ごろに開催予定。北大・東藤正浩委員が実行委員長。

同イベントについて説明がされた。

(3) SB3C [出口 部門幹事]

2023 Summer Biomechanics, Bioengineering, and Biotransport Conference (SB3C)
メインテーマ : " Building Interfaces Across Tissues, Disciplines, and Communities"
開催場所 : Grand Hyatt Resort in Vail, Colorado
Propose a Workshop/Special Session : December 2, 2022
PhD Competition Abstract Deadline : January 5, 2023
MS Competition & General Abstract Deadline : January 12, 2023
BS Competition Abstract Deadline : February 2, 2023
Registration Opens : February 2, 2023
SB3C2023 Meeting : June 4–8, 2023

国際委員会において現状を把握し、適宜周知する旨が確認された。

(4) その他

特になし。

[報告事項]

1. 部門運営関係

(1) 2023 年度部門予算案・事業計画案 [長山 総務委員長] [資料 100-3-16]

資料 100-3-16-1 : 2023 年度予算案及び事業計画案についてメール審議結果の報告

資料 100-3-16-2 : 2022 年度決算見込み案 (PW: bio)

資料 100-3-16-3 : 2023 年度予算案 (PW: bio)

本部から全部門に対して修正案を求められているが、その趣旨や意向について本部に確認することが確認された。

(2) 第 1 回部門協議会 議事録の修正版 [出口 部門幹事] [資料 100-3-17]

5 月 17 日に開催した 2022 年度 (第 100 期) 第 1 回部門協議会議事録の今期取り組み方針について誤りがあったために修正された。

上記事項について報告された。

(3) 2022 年度「機械工学振興事業資金」助成の募集 [出口 部門幹事] [資料 100-3-18]

資料 100-3-18-1 : 2023 年度「機械工学振興事業資金」助成の募集

資料 100-3-18-2 : 2023 年度「機械工学振興事業資金」助成 (部門) 申請書
10 月 31 日 (月) 締め切り

申請をしなかったことが報告された。

(4) 2023 年度代表会員選挙 [出口 部門幹事]

代表会員選挙投票の開票の結果、安達泰治先生、玉川雅章先生が当選された

上記事項について報告された。

(5) 重点活動報告・ポリシーステートメント [工藤 部門長] [資料 100-3-24S]

資料

100-3-24S-1_2023 年度「機械工学振興事業資金」助成の募集

100-3-24S-2_①重点活動報告書様式 → 締切日: 2023 年 2 月 28 日 (火) メール審議予定

100-3-24S-3_②ポリシーステートメント様式 → 締切日: 2023 年 5 月 31 日 (水)

100-3-24S-4_意見書へのご回答: バイオエンジニアリング部門

期日までに作成し、適宜メール審議あるいは今後の運営委員会に諮ることが確認された。

(6) 第 3 回部門協議会 [工藤 部門長] [資料 100-3-25S]

協議会の概要について、資料に沿って説明がされた。

(7) その他

特になし。

2. 部門関連行事

(1) 日本 JSME・韓国 KSME ジョイントシンポジウム [中西 副部門長] [資料 100-3-19]

分野連携企画 No.20 「日本 JSME・韓国 KSME ジョイントシンポジウム」

日程: 2022年11月9-12日 (Joint session 11月10日 13:00-)

場所: ハイブリット開催 (Jeju, Korea)

日本側から部門長・工藤先生、国際委員長・山西先生、およびワーキングメンバー6名参加
次回は日本で年次大会期間中

開催内容について報告がされた。

(2) ISB TGCS 2023 [田原 委員]

International Society of Biomechanics, 19th International Symposium on Computer Simulation in Biomechanics

2023年7月26-28日・龍谷大学・響都ホール (京都駅アバンティ内)

ウェブサイト: <https://isbweb.org/~tgcs/iscsb-2023/kyoto.html>

機械学会との協賛願いの申請について検討 (部門からの手続き確認?)

上記イベントについて紹介され、協賛が可能であるか検討することが確認された。

(3) その他

特になし。

3. 各種委員会等活動報告

(1) 企画委員会 [岩崎 企画委員長]

特になし。

(2) 総務委員会 [長山 総務委員長]

特になし。

(3) 広報委員会 [中村 広報委員長]

- ・機械学会公式 Twitter の活用
- ・部門ウェブサイト閲覧数のカウント
- ・部門ウェブサイトにおける各研究室へのリンク

上記3点について説明がされた。ウェブサイトの閲覧数のカウントについては、実施する可能性があることが説明された。ウェブサイトへの各研究室へのリンクは希望があれば広報委員に伝えることが説明された。

(4) 国際委員会 [山西 国際委員長]

特になし。

(5) 若手による次世代戦略委員会 [大谷 次世代委員長]

特になし。

(6) JBSE 編集委員会 [石川 国際ジャーナル委員長]

特になし。

[その他]

第100期・101期合同拡大幹事会はウェブ開催ではなく、東京において現地開催する可能性があることが伝えられた。

第100期運営委員会開催予定について [出口 部門幹事]

- 第1回 Web 開催
6月10日(金) 幹事会
6月17日(金) 運営委員会
- 第2回 Web 開催
9月15日(木) 幹事会
9月20日(火) 運営委員会
- 第3回 Web 開催
11月21日 幹事会
12月23日 運営委員会
- 第4回 Web 開催
月 日 第100期・101期合同拡大幹事会
(第100期運営委員会 メール審議)
(6月 日 第101期第1回運営委員会)

以上